

朝読書に新聞 有識者が提言

県教育計画改定で会合

県教育振興基本計画の改定に向けた有識者会議の会合が1日、県庁であり、高校教育の充実策で意見を交わした。写真。県教委が新聞を読まない高校生が増加を課題に挙げたのに対し、複数の委員が読解力向上などの観点から新聞の有用性を指摘。小学校などの朝読書の時間に新聞を読み、習慣づけてはどうかとの提言が出た。県教委によると、新聞を読



んでいる県内高校生の割合は2015年の20・7%から18

年は15・6%に減った。会合で河合塾の角野俊彦・東日本本部長は「インターネットでは気に入った記事しか読まないため、極端な考えに偏る危険性がある」「英語の読解問題で経済に関する英文が出る」と正答率が下がる。(幅広い分野の記事が載っている)新聞を読むことで読解力が高まる」と指摘した。

今回で計画改定に向けた課題の議論を終え、委員の意見を基に県教委が素案をまとめ、7月の次回会合で話し合う。(小林真也)